

意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第2回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年3月29日（水曜日） 13:00～15:00 杉並区役所内会議室
出席者	有識者：岡田 知弘氏（京都橘大学 経済学部教授、京都大学名誉教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（松尾、伏田、鈴木）
配布資料	資料1 「第1回有識者意見聴取の記録」 資料2 意見の反映状況 資料3 検証のまとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行った後、有識者から意見を聴取した。</p> <p>1 第1回意見聴取の振り返りについて</p> <p>(1) 「資料1：第1回有識者意見聴取の記録」の確認について</p> <ul style="list-style-type: none">・離職者数を施設種別で比較した時に、特徴が出た場合には、その施設種別で課題を抱えている可能性があるのではないかなど、分析につなげることができる。 <p>(2) 検証まとめのイメージについて</p> <ul style="list-style-type: none">・このままパワーポイントで作成（資料3）した場合、本編を簡潔にする分、資料編が膨大になってしまう。ワードベースにした方がよいのではないかな。・パワーポイントの資料は論理性が失われてしまうことが散見される。報告書は論理が大事であることから、ワードが適している。また、ワードであれば、注記を入れることもできる。 <p>2 意見聴取について</p> <ul style="list-style-type: none">・指定管理者制度導入により、地域貢献としての雇用の継続や地域経済効果、また、社会・文化的効果があると言えるのではないかな。・文化的効果とは、例えば、芸術人材の育成、商店街との連携、貴重な財産となる資料がアーカイブされていること、これらがあることが評価に値する。・地域経済効果とは、例えば、物品の地元購入などの取引関係（直接効果）のほか、財政効果としては税収の増（間接効果）などがある。・定量的分析だけでなく、そこに地域貢献、地域経済効果、文化的効果等の定性的な分析を加えていくことによって、区民が区立施設の価値を再認識していくことにつながるのではないかな。・新たな調査をするということではなく、既存のデータを活用して、多角的な視点で検証していった方がよいのではないかな。最初から視点を固定してしまうと、大事なものを見失ってしまう可能性がある。・事業の実施を指定管理者に丸投げするのではなく、所管課の職員がしっかり運営状況を把握していることは重要なことである。（区が正しくコントロールできていないと、事業者において事故等が発生する場合もある。）そのため、所管課と指定管理事業者が密に連携していることを区民にしっかり説明する必要がある。・区が事業者と的確に調整出来ていることを、共通の指標で測れるとよい。施設の運営状況や課題の把握、モニタリングの際、問題点をしっかり指摘できているかなど、所管課がどれだけ監督責任を果たしているかを確認する必要がある。 <p> 常日頃、事業者とどのようなやり取りをしているのか、所管課ごとに把握しておいた方がよい。</p>

意見聴取 記録

件名	【指定管理者制度】第2回有識者意見聴取
年月日 場所	令和5年3月28日（火曜日） 15:00～17:00 オンライン開催
出席者	有識者：林 正義氏（東京大学 大学院経済学研究科 経済学部教授） 区側：区政経営改革担当課長（森）、企画課企画調整担当係長（松尾、伏田、鈴木）
配布資料	資料1 「第1回有識者意見聴取の記録」 資料2 意見の反映状況 資料3 検証のまとめのイメージ
概要	<p>配布資料等に基づき区側から説明を行った後、有識者から意見を聴取した。</p> <p>1 第1回意見聴取の振り返りについて</p> <p>(1) 「資料1：第1回有識者意見聴取の記録」の確認について</p> <p>① 全体のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・区民が読んで分かる内容になるよう記載すること。また、ユニバーサルデザインフォントを使用した方が見やすい。 <p>② 岡田教授からの意見を共有</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍により労働環境に変化があるかもしれない。どう評価するかは難しい。・従事者アンケートはコロナ禍における意見となる。従事者の回答にもコロナ禍の影響があるということについて、報告書で説明が必要ではないか。 <p>(2) 「資料2：意見の反映状況」について</p> <p>(No.1について)</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的な計算方法や単価を示し、わかりやすい記載にすべきである。・直営に転換した場合の経費に、指定管理者の自主事業の経費が入っていないのであれば、その旨を明記すべきである。そうすることにより、例えば、指定管理料より直営に転換した場合の経費が高い場合、報告書に記載のコスト効果は下限額であることがわかる。 <p>(No.7について)</p> <ul style="list-style-type: none">・資料3のスライド14の「利用者満足度」は、今回の調査で満足度調査を実施したように見える。事業者が独自に実施した調査を引用している旨を説明すべきである。・各施設を評価するに当たって、利用者数の推移データは基本的かつ重要な要素である。・スライド14は、「利用者満足度」「利用者数」とともに、棒グラフにして、数値の増減が一目瞭然で分かるようにすべきである。 <p>2 意見聴取について</p> <ul style="list-style-type: none">・資料3はパワーポイントで作成しているが、報告書は、A4の冊子をイメージしていた。・パワーポイントのポンチ絵は口頭での説明があつてこそ、わかりやすいものである。報告書として読むときには、情報量があるワードの方が理解しやすい。